

番号	2-3-3		表題	汚泥焼却時の廃熱を利用した省エネルギー型焼却炉の導入について	
内 容	<p>東京都の下水道事業は、都内における年間電力使用量の1%相当を下水処理の過程で使用している。また、下水処理の過程で発生する温室効果ガスは、東京都が年間に排出している温室効果ガスの約35%を占めている。これまでも様々な対策の実施により温室効果ガスを低減させてきたが、引き続き積極的な削減が求められている。</p> <p>このような状況の中で、当局では、省エネルギー・再生可能エネルギーの取組を進めるためにエネルギー基本計画「スマートプラン2014」を、温室効果ガス排出量の着実な削減を目指すために地球温暖化防止計画「アースプラン2017」を策定し取り組んでいる。</p> <p>多摩川上流水再生センターにおいても、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の削減を図るべく、汚泥処理設備の老朽化に伴う再構築にあたり、最新技術の導入が進められてきた。</p> <p>本報告では、その中の1つであり、令和3年度から稼働開始した省エネルギー型焼却炉の設備概要と運転実績について報告する。</p>				
キーワード	廃熱利用 蒸気発電機 階段式ストーカ炉 汚泥焼却				
処理区名	多摩川上流処理区	位置区分	水再生センター		
職種区分	設備	施策区分	エネルギー 熱利用		
状態区分	調査	新規性			
実施年度	令和3年度	全体期間			
担当部署	流域下水道本部 技術部 多摩川上流水再生センター				
発 表 履 歴	局内	令和4年度 下水道設備研究発表会			
	局外	第59回 下水道研究発表会			
調査方法	維持管理				
関連情報					